

競技運営に当たっての注意事項

1. 本大会は、平成 26 年度日本陸上競技連盟競技規則によって競技を行う。
2. 競技の円滑な運営を図るため、招集完了時刻を厳守すること。招集完了時刻は、トラック競技で競技開始時刻の 15 分前、フィールド競技で競技開始時刻の 20 分前とする。一部、トラック競技で 20 分前に招集完了の競技もあるので注意すること。
3. トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
4. トラック競技において、フィニッシュラインに入ったらレーンに沿って走り抜けた後、直ちにフィニッシュラインに戻り審判にナンバーカードを見せること。
5. トラック競技で 800m 以上の競技は、オープンコースとする。
6. 小学男女の競技において、60m・100m・4×100mR・走り幅跳びのみスパイクの使用を認める。
7. リレーのユニホームは統一すること。
8. 走り高跳びの跳躍方法ははさみ跳びとし、マットへは足からの着地を原則とする（背、腰等から落下した場合は無効試技とする）。走り高跳びのバーの高さは、次のとおりとする。但し、1 等決定のための試技については 2cm 刻みにバーを上げる。

	練習	1	2	
高校一般男子	1m50	1m55	1m60	以後、3cm刻みにバーを上げる。
高校一般女子	1m25	1m30	1m35	
中学男子	1m15	1m20	1m25	
中学女子	1m15	1m20	1m25	
小学男子	0m85	0m90	1m95	以後、5cm刻みにバーを上げ、男子は130cm・女子は125cmになつたら3cm刻みにバーを上げる。
小学女子	0m85	0m90	1m95	

9. 小学男女のフィールド競技の試技は 3 回とし、ベストエイトは行わない。
10. 試技用具は、主催者が用意したものを使用するものとするが、不足の場合は、選手の用具を検査し主催者で借り上げ使用する。
11. 競技者及び競技役員以外立入禁止のエリア内（特に、トラック種目のフィニッシュ地点及び走り幅跳びのピット脇）には、競技運営に支障が出る場合があるので決して立ち入らないこと。

《その他のお知らせと注意事項》

1. 大会前日のグラウンド開放時間は午後 1 時～午後 3 時です。引いたライン等が消えないよう注意しながら練習してください。
2. 各団体のテントは、決められた時間帯（大会前日の午後 1 時～）に決められた場所（競技役員が指示します）に設置するものとし、設置の際は、突風に吹き飛ばされないことがないようにペグ等でしっかりと固定すること。
3. 近年、駐車に関わる苦情が寄せられていることから、競技場周辺の店舗等には絶対に駐車しないこと。寒河江市立病院東側職員駐車場、寒河江市技術交流プラザ（県立寒河江工業高校裏）を来場者用駐車スペースとして確保しているが、駐車スペースには限りがあるので、近くの方は自家用車をひかえるか、可能な限り乗り合いでの来場を心がけること。なお、駐車に関わるトラブルについて、競技会事務局としては一切責任を負わない。また、競技上に隣接するスペースに駐車する場合は、有事の際、緊急車両が余裕を持って通れる（会場内に入出入りできる）スペースを確保しながら駐車すること。